



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／宮坂宥洪
- 副会長／北村正春・牛山幸一
- 幹事／林 裕彦
- 会報・雑誌・広報委員長／山岡晴男

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F  
Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939 ・ URL:<http://okayarc.org> ・ E-mail:[okayarc@amber.plala.or.jp](mailto:okayarc@amber.plala.or.jp)
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

## 第 2468 回例会 2010 年（平成 22 年）3 月 16 日（火）

司 会：杉田隆夫 齊 唱：それこそロータリー  
点 鐘：宮坂宥洪 ラッキーNo.：No. 18 山崎典夫  
結 婚 祝：尾関秀雄・武井利夫・高木昭好・小口雅弘・小松正二・林 靖高  
宮澤由己・山岸邦太郎

## 会長挨拶

本日のお客様は、諏訪大社宮司の平林成元様です。ようこそお越し下さいました。後ほど卓話をしていただきますので、よろしく願いいたします。

最近では会計年度を暦年に合わせている会社も増えているようですが、官公庁や学校では 4 月が新年度となっているため、日本では 4 月年度が基本です。

暦年と年度が一致している国は、中国・韓国・フランス・ドイツ・オランダなどで、4 月年度の国は日本のほか、イギリス・カナダ・デンマーク・インドなどです。10 月年度の国は、アメリカ・ハイチ・ミャンマーなどです。

日本で 4 月年度になったのは明治 19 年で、それまでは暦年と年度は一致していました。イギリスの風習を取り入れたからなのですが、イギリスが 4 月年度にしたのは、現在のグレゴリオ暦を取り入れた 1752 年からでした。それまでイギリスは春分の日が 1 年の始まりだった為、新暦になっても「会計年度」は従来のまま 4 月に据え置いたのが、現在に至る 4 月年度の発端です。

ロータリーの事業年度は 7 月から始まります。7 月年度の国は、オーストラリア・ノルウェー・スウェーデン・ギリシャなどですが、発祥の地のアメリカは 10 月ですし、なぜロータリーが 7 月年度になっているのか、いろいろ調べてみたのですが、分かりませんでした。ご存じの方がいらっしゃいましたら、ぜひご教示下さい。

## 幹事報告

・次週例会は指定休日となります。次回 3/30 は職場訪問例会です。よろしくお願い致します。

## 委員会報告

職業奉仕委員会 ご案内を差し上げておりますが、次週例会後、(株)丸眞製作所さんへ職場訪問を行います。多くの方のご参加をお願いします。

## 卓話「御柱祭について」

諏訪大社宮司  
平林 成元 様

### 信濃國一之宮 諏訪大社 由緒略誌

#### 御鎮座地

お諏訪様・諏訪大明神と親しまれ、崇敬されている諏訪大社は、諏訪湖をはさんで南に上社、北に下社があります。更に上社は本宮と前宮、下社は春宮と秋宮に分かれて鎮座しております。氏子区域は広く諏訪圏全域（三市二町一村）にわたり、特殊な神事や信仰を守り伝えております。

#### 上社

本宮（ほんみや） 長野県諏訪市中洲鎮座  
前宮（まえみや） 長野県茅野市宮川鎮座

#### 下社

春宮（はるみや） 長野県諏訪郡下諏訪町鎮座  
秋宮（あきみや） 長野県諏訪郡下諏訪町鎮座

#### 御祭神

建御名方神（たけみなかたのかみ） 男神  
八坂刀売神（やさかとうめのかみ） 妃神  
八重事代主神（やえことしろぬしのかみ） 合祀 兄神  
父神は大国主神、兄神は八重事代主神で国造りの大業を成しとげられました。八坂刀売神並びにその御子神と共に、信濃国の開拓に御神意をそそがれ、やがて、この諏訪湖畔の聖地に、お鎮まりになられました。

#### 御神徳

当大社は古来より朝廷の御崇敬がきわめて厚く、持統天皇五年（六九一）には勅使をつかわされて、国家の安泰と五穀豊稔を祈願なされたのははじめ、歴代の朝廷の御崇敬を拝戴してきました。



本宮

#### 祭事の大要

##### ●恒例の大祭

遷座祭 下社 二月一日  
春耕にさきがけて神霊が秋宮より春宮に移られます。

例祭並御頭祭（西の祭）上社 四月十五日

上社第一の祭儀で、古くは三月西の日に行われたので、西の祭とも呼びます。本宮での例大祭の後、御頭郷地区の氏子役員が供奉し、行列を整えて神輿を前宮十間廊に安置し、御杖柱の幣帛・鹿の頭・鳥獣魚類等の特殊な神饌をお供えして大祭が行われます。

例祭並遷座祭（御舟祭）下社 八月一日  
春宮にお遷しされた御霊代を、再び秋宮へお遷しする遷座祭に引き続き、例大祭が行われます。この遷座の行列の供奉として青柴で造った大きな御舟に翁と媼の人形を乗せた柴舟を、御頭郷の氏子達が曳き付けます。神楽殿を三周した後神事相撲があり、翁媼の人形は焚き上げられます。

##### ●特殊神事

難鎌の奉斎

難鎌は諏訪大神を象徴する神器で、御分霊の勧請及び、御柱大祭の際に授与します。

蛙狩神事と御頭御占神事（元旦 上社本宮）

本宮の御手洗川の水を砕いて蛙二匹を捕え弓矢で射抜き、神前へお供えして五穀豊稔と国家の安泰を祈る、年頭第一の神事です。続いて宮司の神秘的な占いにより、一年間大社の重要な祭事に奉仕する御頭郷を選定する御占神事が行われます。



前宮

又、諏訪大神は武勇の神・武門武将の守護神として信仰され、古くは神功皇后の三韓出兵の折に御神威あり、平安時代には関東第一大軍神として広く世に知られました。鎌倉時代以降は源頼朝をはじめ北条氏一門、足利尊氏、武田信玄、徳川家康以下歴代の将軍、その他諸国の大名たちが社領の寄進・神宝の奉納をして武運の長久と国家の安泰を祈願しております。

広くは雨・風の守り神、水の守護神で五穀の豊穣を祈りました。又、生命の根源・生活の源を守る神であり、家内安全・健康長寿・交通安全・商工業の繁栄・開運招福など、御神徳は宏大無辺でございます。

### 全国諏訪神社連合会の行事

全国に御分霊を祀る諏訪神社は六、五〇〇社（神社本庁加盟神社）あり、北は北海道から南は九州鹿児島まで各地に祀られております。

毎年十月には、全国諏訪神社連合大会が本社で開催され約一千名の神職総代が御神威を仰ぎ、交流を深めております。



秋宮

**御社殿** — 重要文化財 —  
**上社本宮** 幣殿・拝殿・左右片拝殿・脇片拝殿、以上天保九年（二八三八）、四脚門、慶長十三年（二六〇八）  
**下社春宮** 幣拝殿・左右片拝殿、以上安永九年（二七八〇）  
**下社秋宮** 幣拝殿・左右片拝殿、以上安永十年（二七八二）、神楽殿、天保六年（二八三五）



春宮

（屋）に神職他が籠って祭を行なうので、穂屋祭とも呼ばれます。鎌倉幕府は全国の武将を集めてこの祭に参加させ、武芸を競わせました。参加した武将は諏訪大神の御分霊を受けて任地に赴き、御分社を奉斎しました。現在は農作物の豊穣と二才児の厄除健康の祈願の祭が行われます。

式年造営御柱大祭（寅・申の年、四月山出し、五月里曳き、下社新殿遷座祭、六月上社新殿遷座祭）

諏訪大社の特筆すべき大祭で、社殿の建替とその四隅に「おんばしら」と呼ぶ巨木を曳建てます。起原は遠く古代に溯りますが、平安時代桓武天皇の御代からは、信濃国の国司により奉仕されました。費用や材料の調達のために元服や婚礼、家屋の新築が禁じられたこともあり。諏訪郡内二十万人の氏子の奉仕によって盛大に行われます。

御神紋 梶の葉（かじのは） — 足の数は上社四本、下社五本の区別がある —



# 古書にみる諏訪大神・諏訪大社

縄文時代

弥生時代

古墳時代（三世紀）

邪馬台国 三世紀 中国の歴史書「魏志倭人伝」

日本列島にあった国々の多くが女王卑弥呼に属し、

その一つの邪馬台国の都が置かれていたと記されている

古墳時代（六世紀）

五〇七年 継体天皇即位

五三八年 仏教の伝来

五九二年 推古天皇即位

六〇四年 聖徳太子、十七条の憲法を制定

六四五年 大化の改新

六六七年 近江大津宮に遷都（天智天皇）

六七二年 飛鳥浄御原宮に遷都（天武天皇）

六九一年（持統天皇五年）

須波に勅使

七〇一年 大宝律令

七一〇年 平城京遷都

七二二年 古事記 撰上

七二〇年 日本書紀 奏上

七二一年〜七三一年（養老五年〜天平三年）の十一年間 「諏訪の国」

七八一年 桓武天皇即位

七八四年 長岡京遷都

七八九年 蝦夷征討軍大敗

七九四年 平安京 遷都

八〇一年 征夷大將軍 坂上田村麻呂 蝦夷地を平定

一三二九年 大宮造栄之目錄

一三五六年 小坂（諏訪）円忠、諏訪大明神繪詞 を著す

## 古事記

ここをもちてこの二の神、出雲國の伊勢世の小坂に降りたりて、十握剣を抜き、逆に浪の穂に刺し立て、その剣の前に踏み坐して、その大國主神に問ひて言りたまはく、「天照大神神・高木神の命以て、問ひに便はせり。汝のうしはける葦原中國は、我が御子の知らず國と言依さしたまひき。かれ、汝の心察何に」とのりたまひき。ここに答へ白さく、「僕は得白さじ。我が子八重代主神、これ白すべし。然るに、鳥遊、取魚して、御大の前に往きて未だ還り来ず」とまをさしき。かれここに天鳥船神を遣はし、八重事代主神を徵し來て、問ひたまひし時、その父の大神に語りて言はく、「恐し。この國は天つ神の御子に立奉らむ」といひて、すなはちその船を踏み横けて、天の逆手を青雲垣に打ち成して降りき。

かれここにその大國主神に問ひたまはく、「今汝の子事代主神、かく白しぬ。また白すべき子ありや」ととひたまひき。ここにまた白さく、「また我が子建御名方神あり。これを除きては無し」と、かく白す間に、その建御名方神、千石の石を手末に攀げて來て、「誰ぞ我が國に來て、忍び忍びかく物言ふ。然らば力敵せむ。かれ、我まづその御手を取らむ」と言ひき。かれ、その御手を取らしむれば、即ち立水に取り成し、また剣刃に取り成しつ。かれここに懼りて退き居りき。

ここにその建御名方神の手を取らむと、乞ひ得して取りたまへば、若春を取るが如く、振み批げて投げ離ちたまへば、即ち逃げ去にき。かれ追ひ往きて、科野國の川羽の海に追めたりて、殺さむとしたまふ時、建御名方神白さく、「恐し。我をな殺したまひそ。此地を除きては、他處に行かじ。また我が父大國主神の命に違はじ。八重事代主神の言に違はじ。この葦原中國は、天つ神の御子の命のまにまに敵らむ」とまをさしき。

## 日本書紀

六月に、京師及び器園四十に、雨水ふれり。戊子に、詔して曰はく、「此夏、陰用節に過へり。懼るらくは必ず霖を傷りてむ。夕までに曇みて朝に茫るまでに憂へ懼る。敵の愆を思ひ念ふ。其れ公卿・百寮人等をして、潛天を禁め断めて、心を振め悔過せしめよ。京及び畿内の諸寺の寔衆、亦當に五日、經を誦め。庶はくは補有らむことを」とのたまふ。四月より雨ふりて、是の月に至れり。己未に、天下に大赦す。但し盜賊のみは赦例に在らず。

秋七月の庚午の朔、壬申に、天皇、吉野宮に幸す。是の日に、伊予國、明野、中朝臣法麻呂等、宇和郡の御馬山の白銀三斤八兩、銀一兩、獻る。丙子に、公卿に宴したまふ。仍りて朝服賜ふ。辛巳に、天皇、吉野より至します。甲申に、使者を遣して広瀨大神と鹿田風神とを祭らしむ。

八月の己亥の朔辛亥に、十八の氏、大三轮・能登部・石上・藤原・石川・巨勢・藤原・藤原・大伴・紀伊・平野・丹波・丹波・佐伯・安武・徳原・阿蘇、に詔して、其の祖等の舊記を上進らしむ。辛酉に、使者を遣して鹿田風神、廣瀨の須波、水内等の神を祭らしむ。

## ニコニコボックス

3月9日

井上保子・小口成人・小口泰史・尾関秀雄・小野 仁・笠原祥一・高木昭好・竹村一幸・中嶋孝一・濱 俊弘・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・原 史郎・藤森睦美・宮坂 伸・宮坂宥洪・宮坂宥澄・矢島 進・矢島 實・山崎典夫・中村文明 エコーRC の皆さんを歓迎します。ようこそ。

3月16日

井上保子・梅垣和彦・太田博久・大橋正明・小口成人・小口雅弘・尾関秀雄・笠原祥一・北澤洋之介・小松正二・高木昭好・中嶋孝一・濱 透・濱 俊弘・林 靖高・原 史郎・藤森睦美・宮坂宥洪・宮坂宥澄・宮澤由己・矢崎宏明・矢島 進・山岡正邦・山崎典夫・中村文明 諏訪大社宮司 平林様、卓話「御柱祭」また、御柱祭をよろしくお願ひします。

## 出席報告

3/9 会員数49名、出席者29名、出席率59.18%、前々回訂正75.51%

3/16 会員数49名、出席者33名、出席率67.35%、前々回訂正79.59%

### <ロータリーカード入会のお願ひ>

お買い物をする際にはロータリーカードで！！

自己負担なしで自動的に財団へ寄付することができます。

(注:クラブ番号=14231・オリコカード営業部 03-5877-5531)



2009-2010 年度 R I テーマ  
ロータリーの未来は  
あなたの手の中に  
THE FUTURE OF ROTARY

